

# 郷内

公民館  
だより

平成26年  
10月号  
発行  
郷内公民館  
TEL 485-4164

## 郷内中学校区人権学習推進委員会

### 研修視察



八月二十三日(土)、郷内中学校区人権学習推進委員会は、研修視察のため、広島方面に出発しました。朝曇りのお天気でしたが、車中では「誇り、差別といじめは越えられる」というビデオを鑑賞し、福島においての、いわれのない風評被害を知りました。つらくても、今できることを前向きに行う福島の方々の行動に、勇気ももらいました。また、人権クイズでは、ビールなどのお酒の缶の上の部分に「おさけ」と点字が表示されているなど、見落としてしまいがちなことを知りました。

広島平和記念資料館では、悲惨な状況の中、人々が希望を持ち続けた軌跡を、写真や映像、展示物で知ることができました。蒸し暑い中での、研修視察でしたが、参加して下さった皆さま、ありがとうございました。以下に、皆さんの感想を紹介します。

★局地的豪雨で土砂災害が起こり、多数の死者・行方不明者を出している広島市へ、天気予報を気にしながら、複雑な思いの参加でした。車中で、福島の風評被害によって、避難者への差別、いじめについて家族が話し合い、自分の思いを言葉にして、前に進んでいったことのビデオ研修、河原先生の詳しい説明に考えさせられました。人権クイズもとても参考になりました。

広島平和記念資料館の見学では、原子爆弾が町に投下され、破壊された様子、放射線・熱線・爆風等による被害パネル、展示物、どの場面もひどく、尊い命が失われたこと...。今なお、世界の中で戦闘があり、犠牲者が出ていること。仲よく平和に暮らせることを願う一日でした。ありがとうございました。

★今年度の研修視察は、事前に、中西清次会長と事務局とで検討の上、広島平和記念資料館に決定し、八月二十三日(土)に実施した。参加者は四十名。行きバスの中では、福島の原発事故から避難してきた人々に対する差別、風評被害など実際にあったことに基づいたビデオを視聴した。その中には、県外のスーパーで駐車係から、「福島ナンバーの車は出て行ってくれ。ほかのお客様さんが嫌がるから。」などと言われる場面があった。また、視察先を広島にしたもう一つの理由は、最近のニュースからである。長崎に修学旅行に行った中学生が、語り部の方に「死にぞこない。」と言ったり、話している方の前に行って行って寝そべったりといった言動があったと知ったからだ。

平和記念資料館では、八人に対し一人のボランティアガイドから一時間半にわたって、戦争の悲惨さ、平和の尊さ、原子爆弾が広島に投下された理由など、残された資料を基に詳しく話を聞くことができた。戦後六十九年たった今もまだ、戦争は終わっていない気がした。また、戦争という取り返しのつかない過ちは繰り返してはならないと強く思った。そのためにも、この戦争を語り継いでいくことが重要であることを痛感した。

## 郷内公民館祭のご案内

日時 十一月十五日(土)・十六日(日) 午前九時

(十五日は展示・十六日は展示・ステージ・お茶席)

講堂生・グループ生の皆さんが日頃の成果を発表します。ぜひ来館ください。



皆さんも、人権クイズに取り組んでみてください。思いがけず、深く考えるきっかけになるかもしれません。

### ★人権クイズ★

- アイヌの人々は、自然の豊かな恵みを受けて独自の生活と文化を築き上げてきました。アイヌの人々は、次のどの地域を中心として古くから住んでいますか？  
A、関東 B、北海道 C、東北
- 広島にはウラン235、長崎にはプルトニウム239を使った原子爆弾が落とされました、広島型と長崎型では、原子爆弾の威力はどちらが大きいものでしょう。  
A、広島型 B、長崎型 C、ほぼ同じ
- 男女の賃金格差(一般労働者について)は男性を100円とすると、女性は約何円になるでしょう。  
A、60円 B、70円 C、80円

問題の答えと簡単な解説です。

### ★答え★

- B 北海道を中心とした地域に古くから住んでいるアイヌの人々は、明治以降の同化策によりいわれのない差別の中で貧窮にあえぎました。
- B 原子爆弾の威力は、長崎型は広島型の約1.5倍でした。しかし、爆心地が中心部から少し北に離れていたこと、山に囲まれた地形が爆風や熱線をさえぎったことで被害が少なかったと考えられています。
- B 北欧諸国は80~90ですが、日本の女性の賃金は正社員で70です。パートを含めれば、50という現状です。

## 人権教育講演会

演題

『私の歩んだ道～見えないから見えたもの』

元岡山県立岡山盲学校教頭

講師 竹内 昌彦先生



8月22日(金)、郷内公民館で、竹内昌彦先生をお迎えして、人権教育講演会を開催しました。最初に、目の不自由な人にとって日常生活で助けになる器具を見せていただきました。慣れた場所では大丈夫でも、不慣れた場所では慣れるまでに時間が必要なので、『「ゆったりと待つ心」を持っていただけるとありがたい』と話されました。そして、今までの人生の中で起こった、つらい体験や楽しい体験を交えながら、『「健康な体は恵まれたあかし」なので、感謝され、人に喜びを与える人となるよう、若い方はしっかり勉強し、弱者にやさしい人であって欲しい』とお話しされました。先生の明るく力強いお話を聞いて、思いやりの心を行動にあらわすことがいかに大切かを、あらためて学びました。

## ふれあいの園

では7月12日(土)に、婦人会の方々と一緒に日々草の植栽を行いました。当日は、雨で畑がぬかるんでいましたが、皆さんの協力で、きれいに植えつけることができました。暑さの中、日ごとに大きく成長し、道行く人を、楽しませてくれています。おひさまが大好きな日々草です。赤・白・濃いピンク・薄いピンクとかわいい色とりどりの花が、毎日欠かさず咲き続けます。植物のやさしい雰囲気を感じる、ふれあいの園では、これから秋にかけて、いも堀りなどの行事がおこなわれます。



## 楽しかった夏講座

7月26日(土)、27日(日)の2日間、公民館では、夏講座を行いました。各講座とも、参加した皆さんは、それぞれ楽しんで取り組んでいました。きっと、夏休みの楽しい思い出として残っていることと思います。楽しい活動の様子を紹介したいと思います。



### 木工教室

藤川麻美先生をお迎えして、巣箱作りをしました。最初に、今日使う杉の名前の由来、木には表と裏があること、裏と表では反り方が違うことを教えていただきました。次に1枚の板に線を引き、のこぎりで切ってから次の面を切り出すという作業をしました。のこぎりを使うのが初めてという人もいて、最初はゆっくり作業していました。その後、それぞれの面を釘で固定していきますが、力加減が難しく、なかなか思うように釘をまっすぐに打てません。大人の人の力を借りながら、がんばりました。そして、最後には世界に一つしかない巣箱が完成しました。

### 夏に食べたい! つめたいスイーツ作り



西山洋子先生をお迎えして、グレープフルーツゼリーとレアチーズケーキを作りました。最初に、先生より、調理に使う「ゼラチン」と「かんてん」の特徴を教えてくださいました。次に、先生がムースの手順を説明しながら作っていくのを、レシピを見ながら確認しました。ポイントは、1度に材料を混ぜ合わさないことです。数回に分けて、だまを作らないようにしていきます。型に入れたムースが固まるまでの間に、ゼリーを作ります。グレープフルーツを器にしますが、果肉をくり抜くには力が必要です。上手に果汁をしぼって、ゼリー液を作り、型に流し込むと、ゆっくり固まり始めます。あっという間にグレープフルーツゼリーとレアチーズケーキが完成しました。飲み物と一緒に試食すると、「おいしい!」という元気な声が、聞こえました。とても楽しい時間となりました。

### 備前焼にチャレンジ!!



尾鷲高明先生をお迎えして、備前焼にチャレンジしました。最初に、先生より2通りの作品の作り方を教えてくださいました。その後、それぞれのイメージしたものにあわせて、思い思いの形の作品に仕上げていきました。黒い土が乾きやすいため何度も手に水をつけたり、ぞうきんに水を含ませたりしました。実用的な器だけでなく装飾としての作品を仕上げる人もいて、充実した時間となりました。最後に、先生に見ていただいて完成です。焼きあがると、作品を作った時よりも2割ほど小さくなります。どんな風に焼き上がっているか、楽しみです。

## 郷内文化大学

6月27日(金)、「うたごえを響かせよう! アコーデオンの演奏とともに」と題し、谷口美香先生・秋山宗三先生をお迎えしました。アコーデオンの美しい音色にあわせて、楽しい歌の時間がはじまりました。ゆかいな秋山先生の司会で、なつかしい曲を歌っていきます。「夏の思い出」「海」「森の水車」「花」など、テーマごとに歌います。途中、先生方の独奏では、ヨーロッパで生まれた楽器特有の、哀愁ただよう音色に引き込まれました。最後に、「花は咲く」を皆さんで、ゆったりと歌いました。



7月25日(金)、「続・民謡の歴史を訪ねて」と題し、住宅正人先生をお迎えして、民謡のお話をききました。ちくわ笛でおなじみの住宅先生は、会場でちくわ笛を作って「ふるさと」を伴奏し、皆さんが楽しく歌いました。全国各地の民謡の郷を訪ねている先生は、『その土地で、働きに働き、一生懸命、命をつないで生きてきた「思いやり」の心が、民謡の中にはある。』とおっしゃっていました。最後に、皆さんで「下津井節」を唄って、楽しく、和やかな時間をしめくりました。



## 郷内文化大学のご案内

### ★「トーク&パンフルートコンサート」

講師 今井 勉先生  
日時 10月24日(金)  
13:30~15:00  
場所 郷内公民館 大会議室  
※郷内文化大学受講生以外の方は、受講料150円頂戴します。

